



第2回漢詩・漢文を楽しむ

陶淵明

魅力再発見

漢詩漢文を楽しむシリーズの第1回「杜甫―魅力再発見」が、好評のうちに終わることができました。今期第2回は、受講生から要望が高かった陶淵明の魅力にせまる講座を下記の要領で開講いたします。奮ってご応募ください。

期 間：2024年3月～6月第4日曜、午後2時～4時

会 場：国労大阪会館 第2小会議室

定 員： 40名（定員になり次第受付終了）

受講料： 4000円（全4回、**一括前納**）

講 師： 下定 雅弘 氏

（岡山大学名誉教授・日本杜甫学会顧問（前会長））

*講義内容・日時は、次ページを参照ください。



<申込みについて>

- 1) FAXの場合は、下記の申込書に必要事項を記入して送付ください。
- 2) メールの場合は、申込書の項目を明記して送信ください。
- 3) 受講料は、下記口座へ、振込人氏名と「カンブン」と記入して入金ください。記入不可の場合は、振込後、メール、FAXでお知らせください。

【受講料振込口座】

ゆうちょ銀行 四〇八店 普通・口座番号：3678405

口座名義 日本中国友好協会大阪府連合会

***申込みは、受講料入金をもって受付完了とします。**

主催・問合せ先：日中友好協会 大阪府連

FAX06-6372-8132 E-mail info@jcfaosaka.org

第2回漢詩・漢文講座を申し込みます。

年 月 日

| | | | | |
|------|----------|--------|-----|--|
| 氏名 | (会員・非会員) | | 連絡先 | |
| 電話 | | E-mail | | |
| 郵便番号 | | 住所 | | |

*申込者の[連絡先]については、主催者からの申込み結果を速やかに受理できるものを記入してください。

陶淵明 魅力再発見

講師：下定 雅弘 氏

岡山大学名誉教授。日本杜甫学会顧問・前会長。

著書に『陶淵明と白楽天』、角川選書、2012)



今回の「陶淵明」講座について一下定先生からのひとこと

陶淵明は隠逸詩人と言われてきましたが、田園詩人と呼ぶのがふさわしいでしょう。

淵明は41歳、地方官吏を辞職して郷里に帰って以後、63歳で病没するまで、田園で生きる喜びを詠い続けました。農民と共に働き、語り、酒を飲む喜び。家族の愛に満たされ、酒と読書と弹琴を楽しみ、田園の四季の風景を愛で、花木を愛しました。こうして生きる喜びを追求し詠い続けたことが、後世の人々を癒し励ましてきました。

淵明は悟りきったのではありません。魯迅が言ったように、政治への関心はずっとあり、死への恐れも消えませんでした。

だが彼は官界にはもどらなかったのです。この潔い態度が後世の知識人たちの憧れのまともになりました。淵明は死の恐れにも真正面から立ち向かいました。死の問題との生涯と全作品をかけた葛藤、これまた淵明の文学が後世の人を惹きつけてやまない大きな理由です。

今年は、前期と後期、計8回の講座で、淵明の魅力を存分に味わいましょう。前期は、詩を味わいつつ関連する文にも接し、後期は文を読みつつ関連する詩をも見直します。

前期に味わう作品(詩)

| 回 | 日時 | 講義内容(予定) |
|---|-------------|--|
| 1 | 3/24 (日) | 「勸農」、「形影神」、「帰園田居」、「遊斜川」、「連雨独飲」 |
| 2 | 4/28 (日) | 「和郭主簿二首」、「丙申歳八月中於下潁田舎穫」、*「飲酒二十首」其五「結廬在人境……」他。*「責子」 |
| 3 | 5/26 (日) | 「雑詩十二首」其一他、「詠貧士七首」其一他、「詠荊軻」 |
| 4 | 6/23 (日) | 「読山海経十三首」其一他、「挽歌詩三首」 |

※取り上げる作品は進行のつごうで変更することがある。「*」が教科書等に採られた作品。